

中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会

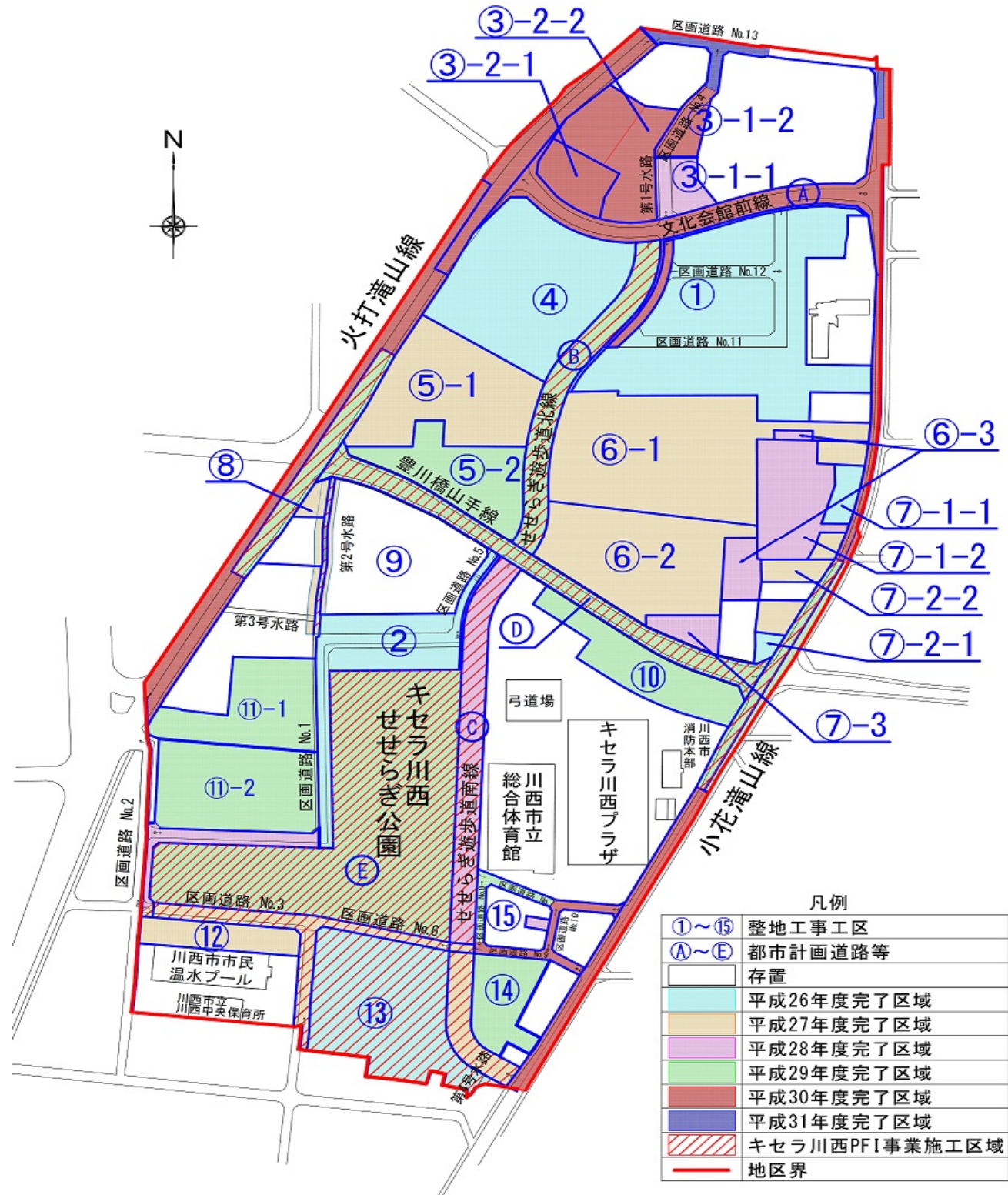
キセラ川西整備事業の進捗状況について

- 1 工事について資料1
- 2 全体事業費について資料1
- 3 シビックプライドの醸成について
 - (1) 市民ワークショップについて資料2 - 1
 - (2) キセラ・カフェがつくる市民参画の形について . . . 資料2 - 2、2 - 3
- 4 今後のスケジュールについて資料3

令和元年9月19日(木)

土 木 部

1 工事について
(キセラ川西整備事業 工区割図)



2 全体事業費について

土地区画整理事業の収入 (単位: 百万円)

	資金計画 (H27.11現在)	収入済額 (R1.8月末)	備考
国費	2,339	2,421	交付決定額を累計
保留地処分金	1,900	2,043	未売却1画地(145m)除く
市費	5,633	4,894	
計	9,872	9,358	

土地区画整理事業の支出 (単位: 百万円)

	資金計画 (H27.11現在)	執行済額 (R1.8月末)	備考
工事費	5,776	4,907	
整地	806	574	
公共施設整備費	1,452	1,759	
粘土・ガラ処分費	950	201	
土壌汚染対策費	1,270	1,052	調査面積72,272㎡、 対策面積28,405㎡
公園施設整備費	500	524	
雨水貯留槽整備費	210	211	
調査設計費	588	586	
補償費	3,655	3,465	物件移転補償費等 (135物件)
事務費	441	986	職員7人/年で見込んでいたが、事業進捗に伴い、適切な職員を配置し取り組んだ結果、最大17人/年が必要であったことから、人件費が増加した。
計	9,872	9,358	

他事業の支出 (単位: 百万円)

	資金計画 (H27.11現在)	執行済額 (R1.9現在)	備考
公共下水道事業	536	1,018	雨水管・汚水管築造工事等
火打前処理場解体処分費	404	414	
黒川移植PJ(キセラ川西せせらぎ公園)	0	40	県民まちなみ緑化事業を活用 (県費200万円)
管理棟(パークオフィスキセラ丸)整備事業	0	39	
計	940	1,511	

事業費合計 (単位: 百万円)

	資金計画 (H27.11現在)	執行済額 (R1.9現在)	備考
1 土地区画整理事業	9,872	9,358	
2 他事業	940	1,511	
計	10,812	10,869	

PFI事業(都市基盤整備業務を除く)支出 (単位: 百万円)

	資金計画 (H27.11現在)	協定額 (R1.9現在)	備考
PFI事業 (都市基盤整備業務を除く)	284	342	平成29年10月 変更協定締結
計	284	342	

3 シビックプライドの醸成について

(1) 市民ワークショップについて

ア．市民ワークショップの導入について

キセラ川西せせらぎ公園の整備については、市民による市民のための市民が愛着をもつ公共空間の実現をめざし、設計・施工・維持管理の各ステージにおける市民参加を積極的かつ継続的に展開してきました。

イ．市民ワークショップの内容について

ワークショップ名	平成24年度以前	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度以降
せせらぎ遊歩道設計WS	平成23年度ワークショップ9回実施 市長報告会	せせらぎ遊歩道を対象とした「使う側」の視点にたった整備計画の策定							
中央公園設計WS		ワークショップ4回実施 市長報告会	中央公園を対象とした「使う側」の視点にたった整備計画の策定						
使い方・維持管理WS			ワークショップ3回実施	中央公園及びせせらぎ遊歩道の一体的な活用及び管理・運営方法の検討					
活動プログラムWS	市民の施設への愛着心の醸成と、豊かなバブリックライフの実現をめざして、市民が主体的かつ継続的に活動するグループの形成及び活動プログラム作りの支援			ワークショップ8回実施					
ホタル復活プロジェクトWS	せせらぎ水路の生物多様性や自然環境の学習を通して、ホタルの乱舞をめざす活動グループの形成及び取組みの支援			ワークショップ6回実施		グループ活動6回実施 (H29 4回、H30 2回)		自主的な活動	継続的な展開
施工WS				市民が携える工事を施工		芝張り体験3回実施			
キセラ・カフェ				公園で活動等をする市民の交流や情報共有を行うプラットフォーム	(H29 6回、番外編1回、H30 5回、番外編1回)		2か月ごとに開催	継続的な展開	
公園管理棟設計・施工WS				市民参加での設計・施工により、シビックプライドの醸成を図る	設計WS4回実施 施工WS5回実施				
市民花壇制作ワークショップ				花を通じて、公園での市民活動の輪の広がりを図る		計画WS 施工WS 開催予定	自主的な活動へ移行	継続的な展開	
その他	プレーパークグループ活動	キセラ川西せせらぎ公園(里庭エリア)でのプレーパーク活動の運営		講座3回実施	グループ活動41回実施 (H27 8回、H28 11回、H29 12回、H30 10回)		グループ活動原則第4日曜	継続的な展開	
	単発WS等	キセラ川西を知り愛着を持ってもらうとともに、将来の市民活動への関心を高める		小学生アンケート	小学生ポスター募集	小学生ポスター設置WS	オープニングセレモニー、記念植樹イベント	「キセラ丸」オープニングイベント、キセラ川西展	
	移植プロジェクト	黒川地区から樹木を移植することにより、市域北部と南部を連携させることにより付加価値の向上を図る			移植樹木調査・決定、根回し作業(2回)・養生移植作業 移植イベント3回実施				

ウ．市民花壇制作ワークショップについて

キセラ川西せせらぎ公園の一部(約30㎡)に、子どもから大人まで多世代が交流できる花壇を制作しています。

これは「市民と共に成長する公園」の一環として、参加者を公募して、花を通じて、公園での市民活動の輪の広がりを図ることを目的に、花壇の計画と施工、管理を進めています。

現在、公園で育てた花でリースを作るワークショップを企画など、少しずつ広がりを見せ始めています。



花壇制作の様子



春の花壇



夏の花壇

(2) キセラ・カフェがつくる市民参画の形について



ア. キセラ・カフェについて

市民参加型の公園運営をめざして、市民が主体的かつ継続的に活動できるよう、市民同士が交流し情報交換を行う場 = 市民のプラットフォームとして、市民と協力しながら運営しています。

最近は、誰もができる草抜きなどの清掃作業や、キセラ丸の休日の運営についてなどのあり方が、話し合われております。

	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回
開催日	H31.1.12	H31.3.9	R1.5.11	R1.7.13
参加人数	13名	16名	36人	22人
概要	交流会 (屋内)	交流会 (屋内)	交流会 (屋内)	交流会 (屋内)



第 11 回の様子



第 12 回の様子



第 13 回の様子



第 14 回の様子

イ. メンテナンスイベント（市民参加による維持管理）について

メンテナンスイベントは、キセラ川西せせらぎ公園を美しく育てるためのメンテナンス（維持管理）について、学び・考える第一歩としてキセラ・カフェの参加者からのアイデアで企画されました。

第3回のイベントでは、小雨の降る中、芝生エリアを中心に、ごみ拾いと除草作業を行いました。作業後の振り返りでは「もっと掃除したかった」という市民の声もありました。

また、タイミングを合わせて地区内の事業者が集まり、キセラ川西地区内の道路清掃なども行われました。こちらは、約50名の参加があり、また、事業者からは大そうじ選手権へ物品の提供をいただきました。

	第1回	番外編	第2回	第3回
	第1回年末大そうじ選手権	第6回キセラ・カフェ	第2回年末大そうじ選手権	第3回大そうじ選手権
開催日	H29.12.23	H30.3.24	H30.12.22	R1.7.13
参加人数	16名	27名	45名	約60名+50名
概要	公園の植栽解説 ゴミ拾い 草引き	メンテナンスイベント お花見キセラ・カフェ	公園の植栽解説 ゴミ拾い 草引き	公園の植栽解説 ゴミ拾い 草引き



第3回の様子

昨年度から取り組んできた除草マップは、パークオフィスキセラ丸内に除草用具とともに設置を行っています。少しずつでも広がりを見せ、継続した市民活動に成長していくようサポートしていきます。



除草マップ

設置の様子

こどもと一緒に

ウ. キセラ丸 オープニングイベントについて

公園管理棟（パークオフィスキセラ丸）の完成に伴うオープニングイベントが、市民の主催によって開催されました。

主催したのは、これまでのワークショップやキセラ・カフェに参加してきた市民が立ち上げた市民グループ「キセラ丸・この指トマレプロジェクト」で、「シミンが「はくくむ」これからの公園 オープニングイベント」として、令和元年5月11日に開催されました。

誰でも参加できる広域に呼びかけた公共施設のオープニングイベントを市民が主催することは、本市初の試みであり、シビックプライドの実例として特筆すべきことと考えています。

第1部は、市民が主体となった公園運営の活動事例勉強会として、岐阜県各務原市にある「学びの森公園」で活動する一般社団法人かかみがはら暮らし委員会と、各務原市の職員を招いてのトークセッションを行い、約70名の市民が参加しました。



第2部は、キセラ丸の体験イベントとして「コーヒースタンド」「写真講座」「ウォーキングレッスン」「キセラ・カフェ」を実施されました。



オープニングイベント後も、「キセラ丸・この指トマレプロジェクト」により、定期的にパークオフィスキセラ丸の運営について検討を重ねており、運営ルールや土日の利用の仕方などについて話し合いが行われております。



